

大分の青少年

No.86-2

令和6年3月



令和5年度 大分県青少年健全育成大会

11月10日（金）にトキハ会館ロースの間で、令和5年度「大分県青少年健全育成大会」を開催しました。この大会は、青少年育成県民運動の一層の高揚を図るため開催するもので、青少年健全育成に功績のあった団体・個人の皆様に佐藤 樹一郎 会長（大分県知事）より表彰状の授与を行いました。

また、少年の主張大分県大会で最優秀賞を受賞した平井 さくらさん（玖珠町立くす星翔中学校3年）に、「好きなことにまっすぐに」の演題で発表いただき、ミュージカルの主人公を演じることを通じて最後まで諦めずに努力することの大切さを学び、これからも「好きなことにまっすぐに」取り組んでいきたい、というその主張に大きな拍手が寄せられました。

続いて、大分県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課 係長の村井 裕一 氏より、「ネット社会を生きる子どもたち～サイバー犯罪の現状と対策～」と題して、近年増加している、若者によるSNSの利用に伴う自撮り被害、闇バイト等のネットトラブルの実態を踏まえ、青少年がネット犯罪の被害者にも加害者にもならないためにどうしたらよいか、そのために大人にできること、について話していただきました。



佐藤 樹一郎 会長の挨拶



平井 さくら さんの発表



表彰の様子



村井 裕一 氏の講演

大分県青少年育成県民会議会長表彰

■ 青少年団体の部（1団体） ■

- ・高瀬みどりの少年団

■ 保護育成者の部（5名） ■

- ・阿部 恒次 様
- ・伊東 昭子 様
- ・城 敬宝 様
- ・八坂 秀史 様
- ・賀来 美和 様



受賞者の皆様



発行：大分県青少年育成県民会議・大分県
（大分県大分市大手町3-1-1 大分県生活環境部私学振興・青少年課内TEL097-506-3076）
ホームページ： <https://www.pref.oita.jp/soshiki/13255/seisyounenikuseijigyo.html>

Facebook：

大分県青少年育成県民会議

検索

mail： oita.patrol@gmail.com



令和5年度 中学生・高校生地域リーダー育成研修

1月21日(日)に豊後高田市「昭和の町」にて「中学生・高校生地域リーダー育成研修」を開催しました。県内の中学校7校、高等学校8校から34名が参加し、「昭和、平成、令和と活性化を続ける「昭和の町」の魅力探求～まちづくりに関わる人々のマインドをみつけよう～」というテーマで、「昭和の町」の歴史や町づくりについて学びました。商店街で町の人々にインタビューをするなどフィールドワークをした後、班ごとに調査内容について意見交換をし、班でまとめた意見を発表し合いました。



日本文理大学 高見先生の講義



「昭和の町」の店主へのインタビューやフィールドワーク



グループワーク・発表

＜参加者の感想＞

- ・地域や学校のリーダーになるには、「その場を誰よりも愛すこと」という言葉が心に残った。
- ・様々な場面でリーダーとして活躍したいと思っているので、自分の原体験に誇りを持ちたい。
- ・昭和の町は、店の方やお客さんみんなの思いで出来ており、笑顔・愛・やさしさで守られていることが分かった。
- ・今回学んだことを生かし地域に愛情や誇りを持って将来、自分の町も活性化していけるように頑張りたい。
- ・他校の人との意見交換や、発表することを通してコミュニケーション力が身についた。

「昭和の町」の人々の思いに直に触れることで、他校の中高生同士、地域との関わり方について熱心に意見を交わしていました。今回の研修成果を参加した中高生が暮らすまちへと自らフィードバックするなど、地域を担う人材へと成長してくれることを期待しています。

第44回少年の船運航事業「大分県少年の翼」

県では、青少年健全育成の一環として、毎年「大分県少年の船」を運航しています。今年度は、4年ぶりの沖縄県での研修となり、初めて飛行機を利用した「大分県少年の翼」として12月23日～26日、3泊4日の日程で実施しました。県内各地から小・中・高校生219人が班を結成し、沖縄県内で様々な体験活動に取り組みました。海洋研修や国際通りでは、沖縄の自然や文化を知り、ひめゆりの塔や大分の塔では戦争の歴史を学び、平和について考えました。また金武町の子供達との交流会は、同年代の沖縄の子供達と関わる大変貴重な経験となりました。

中高生班長・副班長が団員を支え、班で助け合いながら過ごした4日間に仲間との絆が生まれ、解団式の際には別れを惜しむ姿が見られました。参加した青少年が、豊かな体験を通して得た力を今後の社会生活で活かしてくれることを願っています。

日程 本研修 12月23日(土)～26日(火)

場所 沖縄県(那覇市、恩納村、糸満市、金武町、本部町)

参加者

小学生(団員)	171名
中学生(副班長)	24名
高校生(班長)	24名
成人(スタッフ)	44名
計	263名



ひめゆりの塔



海洋研修



金武町出会い交流会



解団式後



秋のこどもまんなか月間の取組

「県民総ぐるみあいさつ運動」

大分県青少年育成県民会議では、大人がお手本を示す「大人が変われば子どもも変わる」県民運動の一環として「県民総ぐるみあいさつ運動」に取り組んでいます。

11月の「秋のこどもまんなか月間」では、九重町で行われた「おおいた教育の日」推進大会の会場入口でのあいさつ運動のほか、大分市内での「県民総ぐるみあいさつ運動」を4年ぶりに実施しました。

あいさつは人と人をつなげる大事な出会いの言葉です。

子どもたちの社会性を育み、子どもたちは地域で守り育てるという意識の高揚を図るため、今後もあいさつ運動を行っていきます。



「教育の日」あいさつ運動



大分市内でのあいさつ運動



青少年のスマホ・インターネットの利用

～皆さんの「家庭のルール」をご紹介します！！～

「大分の青少年(No.86-1)」で、大分県青少年育成県民会議団体や市町村民会議の皆さんに募集したインターネット利用に関する「家庭のルール」について、一部をご紹介します。

- ネットは宿題が終わった後で、午後8時まで。必ずリビング（保護者）が居る場所で使う。
(小学校低学年の保護者・Nさん)
- スマホ使用は自宅のWi-Fi限定で、フィルタリングを設定する。
時間や使い方を子ども達と考えて本人に書かせる。ルールを定期的に点検や見直しをする。
(小学校高学年の保護者・清水家さん)
- スマホを持たせる前にネットトラブル等の事例を調べさせ、自分でルールや約束を決めさせる。
(中学生の保護者・ダイままさん)
- ネットをよく使うこどもからネットの使い方や危険性を定期的に教わり、親子で使い方を共有する。
(高校生の保護者・匿名希望さん)

県のネット利用実態調査（県内在住の小学生・中学生・高校生約1,500名とその保護者の計約3,000名を対象）の結果、家庭内のルールがあると回答した保護者は約73パーセントとなっており、**減少傾向**です。

また、家庭内のルールがあると回答した子どもは約58パーセントで、保護者の認識と差があります。子ども達が安全安心にインターネットを使える環境を作るため、子ども達と一緒に、

「家庭のルール」をつくりましょう。



「家庭のルール作り」などに関する情報はこちら
(私学振興・青少年課のHP)



県民会議加盟団体の活動

～青少年育成事業活用事例～

大分県青少年育成県民会議では、加盟団体またはその支部や下部団体が実施する、青少年育成につながる活動に対してその経費の一部を負担しています。

今年度、本事業にご応募いただいた中から、青少年育成事業を活用して行われた3団体の取組を紹介します。



おおいた子ども劇場主催「子どもキャンプ」

小学校4年生～中学生までの子どもたちと、高校生・大学生・社会人の青年指導員で、子どもたちが主体となって作る自然体験「子どもキャンプ」を3泊4日で実施し、101名が参加しました。

子どもたち自身の手でキャンプを作るため、地域のグループごとに事前に4回、中学生による実行委員会は事前の話し合いを5回ほどもち、子どもたち自身の手で企画・進行を行いました。

当日は、慣れない野外炊飯を自分たちで行い、苦労して作ったご飯のおいしさを味わいました。また、中学生実行委員の企画によるあそびや肝試し、キャンプファイヤーなどの全体イベント、グループ毎の川遊びなどを目いっぱい楽しみました。

異年齢の仲間関係が深まり、少したくましくなった子どもたち。夏休みの特別に楽しい体験になったようです。

東飯田地区青少年健全育成協議会主催「Jr.リーダー研修」

青少年の自立とリーダーシップを養うとともに、集団生活の中で規律と協調性を学ぶことを目的として、小学6年生を対象とした「Jr.リーダー研修」を1泊2日の日程で実施し、子どもたち13名が参加しました。

当日は、豊後高田市の長崎鼻キャンプ場を会場に、海水浴やバーベキューを楽しんだ後、キャンプ場へ移動。自炊活動や団体行動をし、海に沈む夕陽のきれいさにみんな感動しました。翌朝はラジオ体操や海岸の清掃活動をした後、昭和の町で自由行動を楽しみました。

研修の間、ケンカをしたり、仲良く食事を作ったり、いろんな経験をして、子どもたちは一回り大きくなったようでした。



佐伯東地区青少年健全育成会主催「夏休みウィンドカー製作体験」

夏休みに、小学校5・6年生対象として開催し、12名が参加しました。指導は佐伯市発明クラブの4名の先生にお願いしました。

生徒3名の4班に分かれ、各班に指導者がつき、作業開始。最初は図面を見てプラスチックダンボールにカットの線を入れました。同様に各部品を作った後、組み立て、全員苦労しながら完成させました。最後は順番にタイムトライアルです。子どもたちからは大きな歓声が上がっていました。

自分たち特製のウィンドカーを、子どもたちが協力しながら製作することで、ものづくりの楽しさと共にその仕組みを学ぶことができ、とてもよい機会となりました。



市町村民会議の取組

白杵市（白杵市青少年健全育成会連絡協議会）

白杵市では小学校13校区ごとに地区健全育成会を組織し、自治会・民生委員・地区住民等の協力のもと、地域の特色を活かした活動を行っています。

「白杵市青少年健全育成会連絡協議会」では、コロナ禍の影響を受け近年全体会議を実施できていませんが、各地区健全育成会では、地域と学校が連携した取り組みとして様々な活動を再開しています。

その一例として、区長、民生・児童委員、少年補導員のみなさんによる「あいさつ運動」や、児童が地域主催の事業（かかしづくり）へ参加し、地域の方々と交流を深めていることなどが挙げられます。

今後も、子どもたちを地域の宝として育てていくと共に、各地区健全育成会と情報共有を行いながら青少年の健全育成の活性化を図りたいと考えています。



白杵小学校区児童生徒健全育成会「あいさつ運動」の様子



下南地区児童生徒生活指導協議会「かかしづくり」の様子

津久見市（津久見市青少年健全育成市民会議）

津久見市青少年健全育成市民会議では、インターネット関連のトラブルや非行、犯罪被害などの様々な問題から子どもたちを守るため、地域ぐるみで青少年を見守り育む環境づくりを推進しています。

例年、年度初めの総会で当該年度の取組について委員間で確認を行った後、青少年の健全育成に関わる有識者を招聘して研修会を行い、青少年に関わる大人の意識強化を図っています。

その他の例年の主な取組としては、毎月第3金曜日に市内各学校やPTA、市民会議委員などの協力の元、街頭あいさつ運動を実施しています。

また、11月には青少年健全育成や子ども支援に関わる有識者を講師に迎え、福祉部局と共同で「子どもの安全を考える市民講演会」を開催しています。

今年度は、「生きづらさや困難を抱えるこども・若者」という演題で特定非営利活動法人おおいた子ども支援ネット理事長の矢野茂生氏にご講演いただきました。



あいさつ運動の様子（令和5年度）



子どもの安全を考える市民講演会の様子（令和5年度）

玖珠町（玖珠町青少年健全育成協議会）

玖珠町青少年健全育成協議会は、町内旧中学校区、7地区の協議会で構成されています。地区ごとに児童、生徒数にはばらつきはありますが、それぞれ地域に根ざした活動を地区の役員を中心に主体的に取り組んでいます。各地区協議会では少子高齢化が進むなか、地域のお祭りや恒例行事をとおして、子どもたちの健全育成はもとより、地域の伝統行事の継承にも力を入れています。

また、今年度は新型コロナウイルスが5類感染症に移行したことを受け、2年ぶりに玖珠町青少年健全育成推進大会が開催され、くす星翔中学校の平井さくらさんが意見発表を行いました。この発表は少年の主張大分県大会で見事、最優秀賞に選ばれ全国大会でも努力賞を受賞しました。今後も、家庭・学校と連携して地域全体で青少年の健全な育成を支援していきます。



青少年健全育成推進大会



少年の主張大分県大会

お知らせ掲示板

社会的自立に悩みを抱える子ども・若者の気持ちに寄り添い応援します！

大分県では、不登校やひきこもり、就労等の社会的自立に困難な悩みを抱える方々やそのご家族をサポートするため、相談窓口を設置しており、電話・メール・来所・訪問による相談が無料でできます。誰もが抱えるさまざまな悩み事を、ひとりで、家族だけで抱え込まずに、まずはお気軽にご相談ください。

おおいた 子ども・若者総合相談センター

悩み相談の全般を受け付けます！

相談は **無料** です。

悩みごとがあれば、お気軽にご相談ください

まずは ☎ **097-534-4650** にお電話ください。

mail : info@oita-konet.net

相談内容	不登校、ひきこもり、ニート等青少年の悩み相談全般
受付時間	▶ 月曜日～土曜日 10:00～17:00
所在地	▶ 大分市中央町1丁目2-3 KNTビル



届きづらかった支援情報を一ヶ所に集約！

支援情報WEBサイト「このゆびとまれ」

ひきこもり、就労、障がい、不登校などさまざまなお困りを持っている方々やご家族への大分県内の支援情報を一括発信するWEBサイト「このゆびとまれ」を令和4年4月に開設しました。県内各市町村の相談窓口や支援施設などの情報を一つのサイトから知ることが出来ます。また、サイトから各市町村の相談窓口のHPにリンクすることも可能です。是非一度検索してみてください。

不登校、ひきこもり、就労等の社会的自立の問題でお悩みの方へ

大分県内の支援情報WEBサイト「このゆびとまれ」

<https://konoyubi-tomare.jp>

届きづらかった支援情報を1ヶ所に集約！

「ちょっと困ったことがある...」「どこに相談すればいいんだろう」などのお悩みをお持ちのみなさんを支えるWEBサイトを開設しています。県内の相談窓口をはじめ、セミナー情報、支援団体のインタビュー記事など、悩みをかかえる人に役立つ様々な情報をお届けしています。

QRコードをチェック！！



立ち直りを直接支える 保護司になりませんか？

保護司は、法務大臣から委嘱され、地域の安全・安心のために貢献する民間のボランティアとして活動しています。

保護司の活動

- ① **保護観察**…保護観察官と連携しながら、保護観察を受けている人（成人・少年）の担当保護司として月に2～3回程度、本人との面接等を通じて通常の社会生活が送れるよう見守り、助言等を行い、その結果を保護観察所に報告しています。
- ② **生活環境の調整 矯正施設**…（刑務所・少年院）に入っている人が帰る場所（地域社会）の様子を確認したり、家族や支援者等の相談に応じたりして、その結果を保護観察所に報告しています。
- ③ **犯罪予防活動**…地区の「保護司会」に所属し、保護司会が行う研修会や広報活動等の犯罪予防活動に参加しています。

法務省では、保護司になって下さる方々を探しています。

興味がある方は、大分保護観察所若しくはお住まいの地域の更生保護サポートセンターにお問い合わせください。

【問い合わせ先】大分保護観察所企画調整課 Tel 097-532-2053

- 【条件】①社会的信望 ②熱意と時間的余裕 ③生活の安定 ④健康
- 【最初の委嘱時の年齢】原則66歳以下
- 【任期と定年】任期は2年、75歳まで再任可（但し延長可）
- 【給与】なし（交通費等の実費弁償金が支給されます）



更生ペンギン
サウちゃん ホゴちゃん